取扱説明書
動力噴霧器

このたびは動力噴霧器をお買い上げ賜わり厚くお礼申しあげます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読み頂き本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

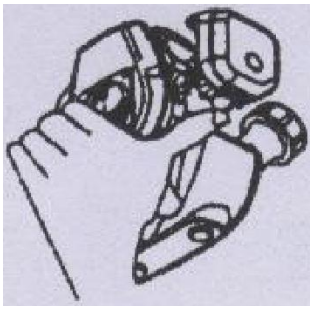
ハイガー汎用製品についてのお問い合わせ・ご相談は、
ハイガー・HAIGE 産業株式会社
〒370-0614　群馬県邑楽郡邑楽町赤堀 2656
TEL：0276-89-8605　　0276-89-8606
EMAIL：support@haige.jp
URL：http://haige.my-store.jp/

作業前の準備と注意事項

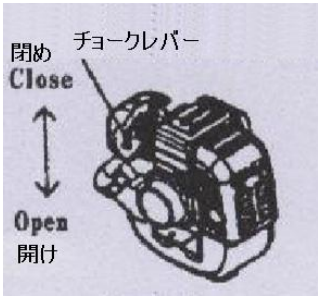
1. 本機のガソリンエンジンは単気筒、2ストローク、空冷、ミニサイズ、軽重量設計されています。操作簡単、お手入れしやすいタイプです。
2. 2ストローク専用混合ガソリンをご使用してください。
3. エアクリーナを定期的に清掃してください。目詰まりすると出力不足や燃料消費が多くなります。清掃は 3 ヵ月毎または 25 時間運転毎。ホコリの多い場所で使用した場合は 10 時間毎または 1 日 1 回。ろ過部を洗い油また水で薄めた中性洗剤でよく洗い、よく絞ってから乾かして、ろ過部をエンジンオイルに浸した後、固く絞ります。ろ過部、エアクリーナ、カバーをもとに確実に組みつけます。
4. 使用前に接続部のパッキンの脱落がないこと、ネジのゆるみや欠落した部品などがないこと、ホースに亀裂、摩耗、破損のないこと等、各部に異常がないことを確認して下さい。
5. 火傷、火災の恐れがありますので強酸性の薬剤・塗料・シンナー・ガソリン・ベンジン等は絶対に使用しないで下さい。
6. 気温が高い時の作業は避けてください。
7. 薬剤は必ず調合してからタンクに入れてください。タンクに薬剤を入れる時は、必ず備え付けのタンクストレーナ（こし網）を通してください。
8. 充填時にこぼれた薬剤をその場できれいに拭き取って下さい。
9. 薬剤タンク蓋は、薬剤が漏れないように、しっかり締めてください。
10. 噴霧作業注意事項：
    1）突然の噴霧を防ぐため、スイッチの ON、OFF の切り替えは、レバーコックを停止状態にして行って下さい。
    2）散布作業中は常に風向きを考え、風上から風下に散布して薬剤が体に直接付着しないように十分ご注意ください。
    3）運転時は必ずタンクに、薬剤または清水を入れて行って下さい。空運転はポンプを傷めることがあります。
    4）お昼気温が高い時の散布作業は避けてください。朝、午後で散布作業お勧めします。
11. 使用後は薬剤タンク内の残液を抜き、清水を入れポンプを数分間（2～3分）運転し、ポンプ、ホース、ノズル等の内部に残っている薬剤をきれいに流してください。
12. 屋内の直射日光が当たらず、風通しがよく、凍結しない、子供の手の届かない場所に保管してください。
13. 自動車等で運搬される場合は、薬液を漏れないよう、タンク蓋をしっかり締めて、傾かない状態に固定してください。
14. 薬剤の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護メガネ、保護マスク、ゴム手袋、長袖、長ズボン、ゴム長靴を着用し皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行って下さい。

エンジンのかけかた

- ノズル　レバーを閉めた状態でエンジンをかけてください。ノズルレバーが開いていると薬剤が噴霧され、思わぬ薬害のおそれがあります。
- 空運転はしないでください。タンクには1L 以上液を入れてください。1L 以下では、ポンプが空気を吸い、作業できなくなります。空運転を続けると、ポンプが破損することがあります。



1．燃料戻しチューブ（透明なチューブ）の内側で燃料が移動するまでプライミングポンプを押します。



2．チョークレバーを完全に閉めます。
・エンジンがまだ熱い時は、チョークレバーを完全に開けてください。

3．スロットル　レバーを半分開けてください。

4．始動グリップのワイヤを引っ張って、エンジンをかけます。

注意！

・まず始動グリップを軽く引き、重くと感じたところで一旦止め。始動グリップを一度戻してグリップを勢いよく何回か引くとエンジンがかかります。

・ワイヤを引いたあと急に手を放さないでゆっくり戻してください。始動装置や周りの部品を破損することがあります。

・運転中はスタータワイヤを引かないで下さい。エンジンに悪影響をあたえます。

5．エンジンが回転安定になったら、チョークロードを完全に開けてください。

6．スロットルレバーを調整して、適正な噴霧圧力を調整してください。

- エンジンかけた直後に、スロットルレバーを一気に高速にしないでください。エンジン保護のため、徐々にスピードアップしてください。
- 最高スピードと最低スピードでの継続運転はできるだけお避けてください。エンジン寿命を縮めることがあります。

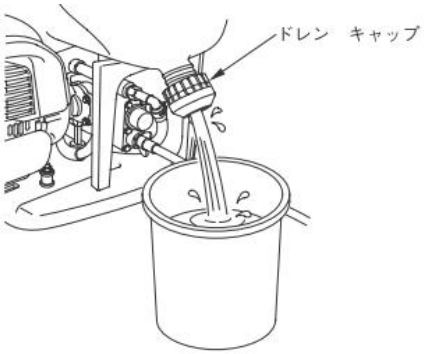
エンジンのとめかた

1. ノズル　レバーを閉めます。
2. スロットルレバーでエンジンの回転を徐々に下げ、最低速で 2～3 分冷却運転を行います。
3. エンジンスイッチを停止に押します。

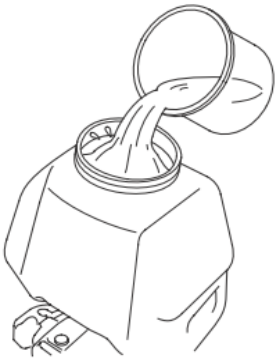
緊急の場合

・緊急時は、直ちにエンジン　スイッチを「停止」位置にしてエンジンを止めてください。

使い終わったら



1. エンジン冷却後、ドレン　キャップをゆるめ、薬液タンク内に残った薬液を排出します。（※ドレン　キャップ付いていない機種もございます。）



2. ドレン　キャップを締め付けます。薬液タンク　キャンプをはずして、タンク内に清水を入れ、洗浄します。

3. エンジンを再始動します。ノズル　レバーを3～4回開閉して、2～3 分間噴霧します。洗浄が終わったら、エンジンを停止し、ドレン　キャップを外して洗浄水を排出します。

注意！

- 作業終了後の洗浄は、必ず行って下さい。機具を良く洗浄せず、別種の薬剤を使用すると、ポンプやホース内に残っていた前の薬液と混じり合って、薬害を引き起こします。
- タンク内に残った薬液や、洗浄に使った水は、薬剤の製造者の指示に従い処理ください。決して川や、池などに流したら、付近に捨てたりしないで下さい。水生動植物などに薬害を生じます。

定期点検を行いましょう

お買い上げいただきました背負式動力噴霧器をいつまでも安全で快適にお使いいただくために定期点検を受けましょう。

定期点検整備項目

点検項目 ＼ 点検時期(1)		作業前点検	1か月目または初回10時間運転目	3か月毎または25時間運転毎	6か月毎または50時間運転毎	1年毎または100時間運転毎	2年毎または300時間運転毎
エア　クリーナ	点検	○					
	清掃			○(2)			
点火プラグ	点検、調整					○	
	交換						○
冷却フィン	点検、清掃				○		
各部締め付け	点検	○					
アイドリング回転	点検、調整					○(3)	
吸入、排気弁のすき間	点検、調整					○(3)	
燃焼室	清掃	300時間運転毎　(3)(4)					
燃料フィルタ	清掃					○	
燃料タンク	清掃					○	
燃料チューブ	点検	2年毎(必要なら交換)(3)					
スロットル　ケーブル	点検	○					
クラッチシュー、ドラム	点検				○(3)		
薬剤タンク、フィルタ	点検、清掃	○					

(1)　点検時期は表示の期間毎または運転時間毎のどちらか早い方で実施してください。

(2)　ホコリの多い所で使用した場合は、エア　クリーナの清掃は10時間運転毎または1日1回行ってください。

(3)　適切な工具と整備技術を必要としますので、お買いあげ販売店またはサービス店で実施していただく項目です。

(4)　表示時間を経過後すみやかに実施してください。

故障と思われるとき

故障と思われるとき:

不具合の状況	原　　因	対　　応
モーター（ポンプ）が回らない	1．配線のはずれ、断線 2．燃料切れ 3．パワースイッチ壊れ 4．エンジン過熱で、保護　ブレーカダウン	1．台座外し、配線をつなぐ 2．補給する 3．スイッチ交換 4．エンジンの温度下げてから、再運転
噴霧しない、または不安定	1．ノズル詰まった 2．噴霧パイプに空気あり 3．ポンプ詰まった 4．ホースにヒビあり	1．ノズル外して清掃 2．各部をしっかり締めつけ 3．ポンプを外して清掃 4．ホース交換
噴霧圧力弱くなった	1．フィルター詰まった 2．ｽｲｯﾁﾌｨﾙﾀｰ詰まった 3．エンジン出力不足	1．フィルター清掃 2．フィルター清掃 3．燃料補給
薬剤漏れ	1．各部の締め付き悪い 2．ガスケット割れ 3．ポンプホース割れた	1．ネジを詰めつけ 2．ガスケットを交換 3．ホース交換
噴霧が順調でない	1．噴霧ホース詰まった 2．噴霧口と噴霧シート摩耗 3．噴霧シート上下逆取付 4．フィルター詰まった 5．ホース等継目に漏れあり 6．エンジン出力不足 7．ポンプに空気入った	1．詰まったところ清掃 2．噴霧シート交換 3．入れ直す 4．清掃 5．締め付け 6．燃料補給 7．ノズル、またはノズルパイプを外して、空気を出す
モーターに異音が発生	ポンプの締め付けスクリュー緩めた	スクリューを締め直す。

お手入れ

1．使用後：

1）表面のホコリ、汚れを清掃

2）清水でタンクとポンプを清掃

3）各部の継ぎ目ところをチェックし、漏れ、損傷ないかを確認

4）各締め付け部のゆるみ、無くなっている部品がないかを確認

5）タンクに清水を入れ、再度ポンプを運転し、ノズルから残液が出なくなったら、スイッチを OFF にしてください。

6）燃料タンク、キャブレータ内の燃料を抜いて下さい。
次回使用時は、新鮮な燃料を入れてください。
警告！
ガソリンは非常に引火しやすく、また気化したガソリンは爆発し死傷事故を引き起こすことがあります。十分に注意して行って下さい。

2．長期使用しないとき：

1）機具を洗浄後、ポンプから噴霧ホースを外し、吐出口から水が出なくなるまで運転して、完全にポンプ内の水を抜いて下さい。ポンプ内に水分が残っていると、凍結した場合にポンプを破損することがあります。

2）燃料タンク、キャブレータ内の燃料を抜いて下さい。

3）地面からやや高目（50cm）のところに保管してください。

4）2～3ヵ月一回に補給して下さい。

5）乾燥、直射日光当たらない、風通しよいの部屋で保管してください。

ハイガー汎用製品についてのお問い合わせ・ご相談は、
ハイガー・HAIGE 産業株式会社
〒370-0614　群馬県邑楽郡邑楽町赤堀 2656
TEL：0276-89-8605　　0276-89-8606
EMAIL：support@haige.jp
URL：http://haige.my-store.jp/